

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

事業名	1217	我山・出屋敷・比土・古郡簡易水道再編推進事業(国補)	会計	04	簡易水道事業特別会計
基本施策	21	安全でおいしい水道水を安定供給する	款	01	簡易水道費
			項	02	簡易水道整備事業費
			目	02	統合簡易水道整備事業費
担当部課名		施設課	細目	101	統合簡易水道整備費
作成者氏名	西山治良	連絡先	細々目	05	我山・出屋敷・比土・古郡簡易水道再編推進事業

事業の計画・内容

整備目的 上野上水道第8次拡張事業に基づき、上水道に統合するため、我山ほか3つの簡易水道を整備し統合する。	1	整備面積等	我山・出屋敷・比土・古郡地区 地区 527戸数 1,571人
	2	規模・構造	
	3	総事業費(千円)	669,417

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	1.0	1.0	1.0
	人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
支出内訳 (千円)	事業費(B)	278,700	210,000	118,200
	委託料	13,182	8,500	6,300
	工事請負費	261,734	198,000	110,198
	その他	3,784	3,500	1,702
合計(A+B)		285,900	217,200	125,400
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金	92,900	70,000	
	地方債	185,800	140,000	
	受益者負担 その他特財			
	一般財源	7,200	7,200	125,400
上記 ~ に関する特記事項				

根拠法令・要綱等
関連事業

事業年度	開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 19 年度
------	------	----------	------	----------

進捗状況					
区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
事業費	319,803	210,000	118,200		
進捗率	50.97	82.35	100		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
我山・出屋敷・比土・古郡簡易水道を上水道に統合	上水道普及率の向上・使用水量に応じた各施設の機能向上・トラブルに対し迅速な対応。老朽管の解消率の向上。 計算式 給水戸数527戸 / 計画 地区戸数527戸	平成 19 年度 100
老朽管の更新率	計算式 更新した管の延長距離 9,145.6/16,460 地区内の老朽管延長距離(もしくは 更新計画延長距離)	100

事業開始時からの状況変化等

当初、川上ダムを水源とする県水の供給開始(平成17年度)にあわせ、上野地区では拡張事業を進めてきたが、ダム建設事業の不透明さにより企業庁では、建水の供給開始を平成21年度に変更した。簡易水道施設の老朽化が進み、いつ事故が発生してもおかしくない状況であり、地域住民に安全で良質な水道水の安定供給が責務である。計画通り事業を進めることが必要である。
--

評価	必要性	4	第8次拡張事業計画を進めることにより、水道利用者に対し安心して使用できる水道水を供給することができる。また老朽管の敷設替は濁水、出水不足を解消し漏水防止に有効である。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		